

2021年8月18日

輸送動向について（2021年7月分）

1. 輸送概況

コンテナは、東海道・山陽線大雨等の影響を受けたものの、新型コロナウイルス感染症に伴う景気低迷からの回復および昨年が「令和2年7月豪雨」に伴い九州地区で不通となった反動で、農産品・青果物、家電・情報機器、エコ関連物資を除く品目で前年を上回った。

紙・パルプが昨年的大幅な減産からの回復および輸送障害の反動により増送となったほか、化学工業品、化学薬品は、自動車生産の回復に伴う原料の発送増等により前年を上回った。積合せ貨物は、EC需要の拡大や3月からのブロックトレイン運転開始等により、堅調な発送となった。

一方、エコ関連物資は、建設発生土の輸送が7月半ばに終了したため前年を下回ったほか、農産品・青果物は、コロナ禍における外食産業向け需要の低迷により低調に推移した。コンテナ全体では、前年比105.2%となった。

車扱は、石油が前年を下回ったものの、セメント・石灰石等が堅調に推移し前年を上回った。結果、前年比102.6%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比104.4%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,568	1,490	105.2%	6,268	5,930	105.7%
車 扱	618	602	102.6%	2,257	2,207	102.3%
合 計	2,186	2,092	104.4%	8,524	8,136	104.8%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	89	96	-7	92.7%
	化学工業品	142	127	15	111.4%
	化学薬品	109	96	13	113.6%
	食料工業品	276	274	2	100.6%
	紙・パルプ	179	150	29	119.1%
	他工業品	119	107	12	110.8%
	積合せ貨物	246	235	11	105.1%
	自動車部品	65	58	7	112.6%
	家電・情報機器	25	26	-1	95.8%
	エコ関連物資	45	59	-14	75.1%
	その他	273	261	12	104.5%
	コンテナ計	1,568	1,490	78	105.2%
車 扱	石油	389	397	-8	98.1%
	セメント・石灰石	130	123	7	106.1%
	車 両	70	63	7	110.5%
	その他	28	19	9	147.3%
	車 扱 計	618	602	16	102.6%
合 計		2,186	2,092	94	104.4%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)